

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	桶川市児童発達支援センターいずみの学園				公表日	R8年 3月18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・利用定員に対し指導室等のスペースは確保できています。また、個々の対応が出来るような室内になっております。	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員が14:00までの勤務となり、14:00～15:00の間の療育にあたる職員が、休憩時間をしっかり取れていないことが多い。 ・個別課題を行うためにも14:00以降の職員の増加。 ・14:00以降の職員体制への課題。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	40%	60%	・法令の基準（お子様4名につき職員1名の体制）以上の職員を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・こどもたちが見通しをもって安心して過ごせるよう、刺激になるものを減らし、視覚支援を用いて活動しやすい空間をつくっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・指導室等の換気を常時行い、玩具や室内の清掃・消毒を行い清潔に保っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・静養室を設置しております。こどもの混乱時や気持ちが不安定になった時等、状況に応じていつでも使用できるようになっております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・児童発達支援管理責任者を中心に定期的なクラス会議を行い、支援方法等を職員間で共有しております。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の話し合いの時間が不足しているように感じる。異動してきて分からないことが多い場合にスムーズな連携が難しい。 ・第三者機関による外部評価の実施については予算を伴うものであり、近隣施設と共に研究していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・年1回実施し、業務改善に努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	70%	30%	・療育を行う上で、職員間で声をかけあい、場合によっては適宜意見を聞く機会を設けております。業務の実態を把握し改善に努めてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	70%	30%	・第三者評価には社会福祉士会等に依頼して実施するものと想定しておりますが、評価機関への委託料を予算化するのが難しい現状です。近隣自治体の状況を見ながら検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・臨床心理士、言語聴覚士、理学療法士による研修を行い、事例検討も含めながら実務に沿った内容でこどもの発達の理解を深めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・支援プログラムを作成し、ホームページに公表しております。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況に応じた支援方法などはもっと十分な話し合いの時間が本来必要なのではと思います。 ・共有する時間がとれていない日が殆どである。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・保護者様のご意向を聴き取りながら、アセスメント及びモニタリングを実施し、児童発達支援計画を丁寧に作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・児童発達支援管理責任者と担任でケース会議を行い、こどもの目標、支援内容を検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・定期的に会議を行い、支援について計画に沿って行われているかアセスメント及びモニタリングをしながら進めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・臨床心理士及び言語聴覚士により、新版K式発達検査等の検査器具を使用しながらこどもの発達段階を確認したり、理学療法士による専門的な助言をいただきながら、より良い支援を提供できるよう努めております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・児童発達支援ガイドラインに沿った内容で設定し、保護者様に分かりやすいよう、具体的な支援内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・クラス毎にこどもたち一人ひとりの発達状況を共有し、活動プログラムの立案、及び修正を行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・こどもたちが楽しく活動に参加できるように工夫しております。個々の発達状況を踏まえており、固定化にはならないような活動プログラムになっております。また、新しい経験ができる設定や繰り返し行うことで経験が積み重ねられるような活動も大切にしております。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・小集団での活動を主軸としながらも、個別のプログラムを取り入れた児童発達支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・療育開始前に、クラス全体のボードを用いながら、担当児童と支援内容を確認し連携を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	・療育終了後は、担当児童の振り返り、目標に対する評価を記録しております。また、気がかりな点があれば職員間で共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・毎日連絡ノートの記入の他に、個別の振り返りを記録し、翌日の支援にもつなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・半年ごとにモニタリングを行ったうえで、児童発達支援計画の見直しを行い、こどもたち一人ひとりの計画内容を精査し、成長・発達等に応じて見直しの必要性を判断しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	90%	10%	・こどもたち一人ひとりの状況に精通した最もふさわしい児童発達支援管理者、及びケースワーカー等が参画しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・桶川市の母子保健担当者や、こども・子育て支援担当者と定期的に療育連絡調整会議を実施しております。また、必要に応じて主治医や協力医療機関と連携を取り、同行受診も行う等、こども一人ひとりの状況に合わせた支援を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	0%	・保護者様の同意の上で、併行利用の支援を行っております。また、定期的に市内公立保育所との交流会や、児童館での交流、年長児の保育所通所支援、学校訪問、併用施設訪問等を通じ、情報共有と相互理解を図っております。更に、個別に必要なに応じてこどもにかかわる関係機関との情報交換を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・保護者様の同意の上で、小学校や特別支援学校と、こども一人ひとりの支援内容や発達状況の情報共有及び相互理解を図っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	90%	10%	・必要に応じて併用利用先の事業所等と連携を図り、ケア会議を開催する等、支援内容の検討や支援の共有等を行い、連携を深めております。今後も、地域の児童発達支援センター等を含め、さらに連携を深められるよう努めてまいります。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	・適宜、研修に参加しております。埼玉県発達障害総合支援センターとも連携して助言を受ける等実施しております。施設内における虐待防止について、全職員で園内研修に参加し、自己研鑽に努めております。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	90%	10%	・子ども発達相談支援センターの職員が、上尾・桶川・伊奈地区自立支援協議会の委員となり、こども部会に参加しております。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	・年間カリキュラムの中に地域の保育所や児童館を訪問し、交流する機会を設定しております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・日々、連絡ノートでのやりとりや、保護者公開日、親子通園等で、保護者様からは家庭での様子を、学園からは療育中の姿を伝え合っております。必要に応じて、専門相談の時にはこどもの状況から課題を確認し合い、共通理解を深めております。	
保護者への	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に説明会を開催し、資料等を配布し直接保護者様へ丁寧にご説明しております。また、必要に応じて、入園前の施設・療育見学、療育体験、及び入園前相談に適宜、ご質問等にお答えしながらご理解しやすい説明を心がけております。	・地域住民を招待するために案内などはしているが実際招くということは難しいのかと思います。(人数の制限があるため)
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・児童発達支援計画を作成する前に、保護者様との面談でご家族の意向やお子様にとっての優先順位の聴き取りを行ったのち作成しております。	
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	・保護者様の同意を得た上で、こどもたち一人ひとりの発達・成長等に合わせた支援を行っております。	
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・日々、連絡ノートにて子育ての悩みや相談に丁寧に対応しております。また、必要に応じて電話及び面談での相談を行い、保護者様一人ひとりに合わせて対応と支援を行っております。	
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・保護者公開日の開催や親子通園、各種行事等を通じて保護者様が集まる機会を定期的に設け、保護者様同士の交流や連携が図れる支援を心がけております。また、ごきょうだいその他ご家族皆様も各種行事に参加しやすい内容と雰囲気づくりに努めております。	

説明等	39	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・子どもや保護者様に対して、丁寧かつ個別な対応が出来るような職員体制を整備しております。相談や申し入れが等があった場合には、迅速かつ適切な対応に努めております。	
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・毎月カリキュラムや「学園だより」等を配布し、当施設での活動概要や行事予定等の情報を発信しております。また、緊急時には電子媒体により保護者様へ一斉メールを送信する手段をとっております。	
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・子ども一人ひとり及び保護者様の個人情報を管理するパソコン等の電子媒体には、パスワードを設定する等のセキュリティを講じて管理を徹底し、取り扱いには十分注意を図っております。	
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・子ども一人ひとりの特性を考慮しております。また、状況や個々に応じて、写真、絵、図、筆談、指差し、ジェスチャー、音声等の情報伝達手段を幅広く活用し柔軟に対応しております。	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	・各種行事等を通じて地域に開かれた事業運営に努めてまいります。	
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	90%	10%	・「防災計画及び行動マニュアル」及び「感染症マニュアル」を策定し避難訓練等を実施しております。また感染症についても、迅速に保護者様への周知を行っております。	
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・業務継続計画に沿って、定期的に避難等訓練をし、必要に応じて見直しを行っております。	
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・保護者様を通じ、母子手帳、お子様の主治医及び医療関係者のご意見、処方等を確認し、連絡体制を整え、事前に服薬、予防接種及びてんかん発作等の状況を確認しております。また、医療的ケアが行える保健師及び看護師を当施設に配慮し、療育職員へ対応方法を周知しております。	
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・保護者様を通じて医師の指示書に基づき、当施設の責任者並びに担当職員が保護者様と面談を実施し、桶川市の栄養士の意見を取り入れながら、個々にアレルギー食の提供を行っております。また、定期的に栄養士との面談機会を設け、情報共有を行っております。	
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	・安全計画を作成し、定期的に訓練や見直しを行いながら、安全管理に努めております。	
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	90%	10%	・安全計画は閲覧できるよう設置及び周知しております。また、懇談会等で取り組みについて説明しております。	
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	90%	10%	・日々の情報共有、及びヒヤリハット報告書等の中でヒヤリハットについて情報を共有した上で検証し、その都度、改善策・対応策を検討し、事故等の予防に活用しております。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	90%	10%	・虐待防止委員会を設置し、年に数回研修の機会を確保し、事例等をふまえ、こどもの発達状況に合わせた支援ができるよう心掛けております。	
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	・児童発達支援計画上に「場面・方法」を明確に記載し、やむを得ず身体拘束を行うことについて面談の中で丁寧な説明を行い、保護者様の同意を得ております。		